

# ACCUSTIC ARTS



## MONO II

モノラル・パワーアンプ  
¥2,600,000(ペア、税別)



## PLAYER II

CDプレーヤー  
¥2,500,000(税別)

# 注目のドイツ・ハイエンドブランドの 最上級機とエントリー機を聴き比べる

Text by 井上千岳 Chitake Inoue Photo by 田代法生

ここ数年の充実ぶりは  
目覚ましいものがある

ハイエンドメーカーというのは、思いの外浮き沈みが激しいようだ。一世を風靡したかと思うと数年を経ずして姿を消してしまったり持ち主が代わったりして、10年も経つと業界地図がすっかり塗り替わっていたりする。

ハイエンドの場合オーナー自身が一人で開発・設計を行っていることが多く、そのためじきにアイデアも枯渇して行き詰ってしまうというケースが大半であろう。実際ひとつのアイデアだけで、長くメーカーを続けるのは難しい。

アークステティック・アーツはドイツのハイエンド・ブランドである。1996年に設立されているのでかれこれ20年近くになるが、ドイツの典型的な家族経営の会社で安定しているという。それ以前は自動車関係の会社であったそうだが、企業としての基盤がしっかりしているであろう。

20年ほど前といえばそう遠い過去のことではない。むしろオーディオブランドとしては新しい方だ。しかし最初に述べたような経緯がこの業界にはあるため、20年近く安定して運営されているといつし

かハイエンドの定番とも見なされる存在となってくるのである。事実この数年の同社の充実ぶりには、真に目覚ましいものがある。その端的な例が、ほかでもない今年発売されたMONO IIというパワーアンプである。

●リファレンスシリーズ  
美麗さを意識させない  
自然体の再現性

ここで同社のラインアップについて少し触れておくと、大きく3つのクラスに分けられる。最上位がリファレンスシリーズで型番の末尾にIIないしIIIがつく。次がトップシリーズで、型番にはIがつく。このIIやIIIがMk2などと紛らわしいので、ちょっと注意が必要だ。最もベーシックなのがESシリーズで、これはESという末尾なのですぐ分かる。

さてこのMONO IIは、タワー型のモノアンプ。出力段は12個のMOSFETで構成され、カスケード・エミッター方式のA級動作である。電源は実に1200VAのトroidalトランスと、80000μFのコンデンサーで形成され、出力は8Ωで300W、2Ωでは700Wを保証する。

このアンプに組み合わせるのは、



MONO IIの背面。入力はRCAとXLRをプッシュスイッチで切り換える方式を採用。スピーカー出力は2系統を持つ



PLAYER IIの重量感ある付属リモコン



PLAYER IIのアナログ出力はRCAとXLR各1系統。デジタル入力はAES/EBU、RCA同軸、光TOS、USB 2.0の4系統。デジタル出力はAES/EBU、RCA同軸、光TOSの3系統を装備

## Specifications

<PLAYER II> ●CDメカ:CD-Pro 2LF/3 ビーム ガラスレンズ レーザ ●対応フォーマット: 24bit/192kHz (ALAC、FLAC、AIFF、WAV) に対応 ●歪 (THD+N): 0.005% / 24 bit (22Hz~22kHz) ●消費電力: 最大30W ●使用真空管: 12AX7 (軍用規格/4回の選別とペアリング) ●サイズ: 482W×130H×375Dmm ●質量: 18kg  
<MONO II> ●電圧利得: 31.0dB ●電源トランス: 1,200 VA (W) ●電源キャパシター: 80,000μF ●入力インピーダンス: バランス (XLR) 2×20kΩ、アンバラ (RCA) 100kΩ ●出力: 700W (2Ω)、500W (4Ω)、300W (8Ω) ●高調波歪 (THD+N): 0.007% / 4Ω、1kHz、10W 負荷 ●SN比: -104dB (ref. 6.325V) ●消費電力: 100W (無負荷) ●サイズ: 240W×350H×430Dmm ●質量: 25kg

PLAYER IIというCDプレーヤー。USBを含む4系統のデジタル入力を用意、192kHz/24ビットへのアップサンプリング機能を持つ。そして同社の特徴でもあるチューブハイブリッド技術によるプリアンプ部を搭載しているのが注目される。つまりパワーアンプへじかに接続することができるというわけである。

この両機を組み合わせて聴いてみようというのは、それだけが目的ではない。同社の最新・最高の音を確認したうえで、それがベシックなESシリーズにどのような反映されているのか、それを探るのが本来の目的である。

まずはそのトップエンドの音だ。同社のここ数年の充実ぶりと先に述べたが、それは音によく表れている。もともと繊細・美麗であった音調が徐々に練れて、美麗であることを意識させない自然体の再現性に移りつつある。濁りや歪みがなく、高S/Nで伸びやかなことに変わりはない。またディテールの繊細な表現力にも、一層磨きがかかっている。それらが巧まずに出てくるところが、アンプとしての充実なのである。

おそらく駆動力や制動力が高まり、動作が安定しているのだろうか。

ここでもピントのびったり合ったピアノのステージ感や、バロックの艶やかで粘りのある感触が、全く危なげなく描かれている。無理な緻密さや人工的な繊細感がまるで感じられないのがいい。

一方でオーケストラの実在感はずばりにたくましい。チェロとコントラバスによる低音の芯の太さと当たりの柔らかさ、ヴァイオリンのきめ細かな艶、金管の輝かしさとダイナミズムなど、トゥッティの盛り上がりがどこまでも切りがないように楽々としている。

ジャズやヴォーカルも屈託がなく、弾力的で生き生きとした質感と素のままのような表情の明快さ。なんとも言えない魅力だ。

ハイエンド機にはとすれば個性を重視するためか癖や誇張の感じられるケースも見られるが、そうした不自然さに陥っていないのが同社のセンスであり見識と云っていい。だからいまではハイエンドの定番となり得たのである。

### ●ESシリーズ グレートによって音調が 違ったらおかしいのだ

同じことは、実はベシックなESシリーズにもそのまま当てはまるのだ。まずここを特筆したい。

ここではPLAYER ESとPOWER ESの組み合わせを聴いてみたい。POWER という型番だがプリアンプである。価格を見れば分かると思うが、国産機と比較しても同等だ。そして音調は先のリファレンスシリーズと変わらない。

これは当たり前で、グレートによって音調が違ったらおかしいのだ。ブレがないということである。天上から手の届くところへ降りてきたと言ったらどうだろうか。ある意味で分かりやすい鳴り方である。ものすごい底力やぎりぎりまで彫り下げた繊細感や上級機に任せ、ここではごくナチュラルな音が息をするように普通に出てくる。

S/Nの高さや歪みの低さは変わらない。ピアノのステージ感バロックの瑞々しさ、オーケストラの起伏の強さ、ジャズの生命力など、同社ならではの自然な実在感が随所に溢れている。

結局欲しいのはこういう音なのである。高品位で上質なオーディオの音というのは、つまりこうしたものを指すのだ。ハイエンドメーカーだからこそできる魅惑のミドルレンジ。デザインの美しさとともに、離れがたいものを感じるのである。

## 各種ケーブルの ラインアップも充実

アコースティック・アーツは、コンポーネント意外にも充実したケーブル群をラインアップしている。特に力が入っているのが電源ケーブル。現在3モデルが発売されており、基本的な構造は同一であるが、芯線の太さやシールドなどで差別化がなされている。

電源タップはフィルターの有無により2シリーズ4モデルが用意されており、同ブランドが電源周りに高い関心を持っているのがうかがえる。



電源タップのPOWER STRIP PASSIVE 6(¥72,000/税別)は、フィルター非搭載型



POWER CORD FERRITEII(¥70,000/税別)は、電源ケーブルのトップモデル

●ACCUSTIC ARTSの取り扱いには(株)ハイ・ファイ・ジャパン

PLAYER ESの付属リモコン。ESシリーズの他モデルも操作可能



POWER ESのリモコンはボリュウムの操作のみとシンプル



PLAYER ESの背面パネル。アナログ出力はRCA端子1系統。デジタル出力はRCA同軸と光TOSを装備。メインスイッチはリアパネルに置かれている



POWER ES (Phono)のリアパネル。入力端子はPhono入力を含め全てRCAで4系統。スピーカー出力端子は1系統

### Specifications

<PLAYER ES> ●対応フォーマット:CD、CD-R、CD-RW (incl.MP3)、WAV、FLAC、MP3等にも対応 ●アナログ出力:RCA×1 ●入力データ:16~24bit/96kHz(RCA)、48kHz(USB) ●デジタル入力:S/P-DIF 75Ω(RCA)、USB 2.0 (type B) ●歪(THD+N):0.0018% ●DAコンバーター:24bit/192kHz アップサンプリング ●サイズ:482W×96H×370Dmm ●質量:10kg  
<POWER ES (Phono)> ●チャンネルバランス:0.5dB以下(0~40dB) ●入力インピーダンス:50kΩ/RCA ●出力(THD+N=0.1%):90W/ch(8Ω)、120W/ch(4Ω) ●SN比:-89dB(ref.6.325V) ●歪:0.005%(8Ω、1kHz、10W)、0.008%(4Ω、1kHz、10W) ●ダンピングファクター:500以上 ●消費電力:56VA(無負荷) ●サイズ:482W×96H×400Dmm ●質量:約11kg ●ラインレベル専用モデル:POWER ES(¥570,000/税別)

ハイエンドメーカーだからこそできる  
魅惑のミドルレンジモデル

## PLAYER ES

CDプレーヤー  
¥570,000 (税別)



## POWER ES (Phono)

プリメインアンプ  
¥680,000 (税別)